

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付け、理解を更に深めたり広げたりし、自分から意欲的に学んだり活動しようしたりする児童を育てる。 ・構造的な板書とノート指導、教材の作成、指導計画の作成等の充実を努め、児童の「学び続ける力」を高める。 ・学習にふさわしい環境や学習に臨む心構えを育てるために、南二スタンダード(学習)の活用を努める。 ・朝読書や「図書の時間」を通じて、読書の時間を増やすとともにその質を高めることにより読書の好きな児童を育てる。そして、児童の語彙・読解力を高め、「思考力・判断力・表現力」の向上に努める。

授業改善の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決・課題解決的な学習を日常化し、全教科で質の高い授業を実現する。 ・昨年度の研究成果をもとに、主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導・発問の研究を更に進め、「確かな学力」(思考力・判断力・表現力)を身に付けさせる。 ・教科横断的に児童自らの課題解決力を高めるための魅力ある授業指導を目指し、児童の学習意欲を高める授業方法の工夫・改善に努める。

各教科の指導の重点	国語科	音楽科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点					
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、課題解決的な学習の工夫、構造的な板書の活用に取り組み、全教科の基盤となる国語力を育てる。 ・低学年では叙述をもとに想像して読むことを意識させる。高学年では他の人の考えを自分の考えに生かせるよう、発表の機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも自分のまわりの声や楽器の音を意識して聴くように促しながら、表現力を高めていく。 ・高学年は曲想を生かした表現ができるように共通事項に着目しながら繰り返し取り組ませる。 			異学年及び特別支援学級の児童や地域社会との交流体験を通して、コミュニケーション能力や自己の生き方を考える力等の「共に生きる力」を育成し、豊かな人間性・社会性を培う。	主たる教材である教科書を活用し、全ての内容項目を網羅した上で、互いの人権や生命を尊重し、信頼と協力を大切に、社会に貢献する力を育成し、豊かな道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。			
	社会科	図工科			<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力」(基礎・基本)の確実な習得とともに問題解決的な学習を通して、考える力を育てる学習指導の工夫を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分の表現したいことを期待をもって発想できるような教材の選択と提示を行い、つくる楽しさを味わわせる。 ・道具の基本的な使い方や段階的に指導し、経験を重ねながら安全・有効に使える力をつけさせる。 	特別活動の指導の重点	外国語活動(3・4年)の指導の重点	
	算数科	家庭科			<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力」(基礎・基本)の確実な習得のために全学年で習熟度別グループ編成による算数少人数指導の充実を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員としての自覚を育て、衣食住に関する実践的・体験的活動を通して生きる力を育てていく。 ・家庭での課題に取り組むことで実践力を高めていく。 			学級活動では、町田っ子カリキュラム(規範教育)を通して集団の一員としての役割を自覚し、自らの生活を向上させようとする意欲と実践的な態度を培う。
	理科	体育科			<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を通して、五感を通して観察や実験をし、既習事項を生かして、問題解決方法を考え、実験の結果から考察をまとめる学習過程を通して、科学的な思考力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードやICTの活用等、効果的な学習方法や振り返りを生かした授業づくりをする。 ・体力テスト等の結果を生かした「わかる・できる・楽しい」体育の授業を充実させる。 			外国語活動(5・6年生)
	生活科	外国語科(5・6年生)			<ul style="list-style-type: none"> ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・えいごのまちだ推進授業の趣旨を踏まえ、ALT、MEPSと綿密に連携した活動的で楽しい英語授業の実現を図り、英語によるコミュニケーションに慣れ親しみつつ中学校英語への基礎となる力を養う。 ・「スノービーミュージアム」での校外学習(5学年)、イングリッシュフェスタ(第6学年)を有効活用し児童の学習意欲を高める。 			

本校の授業改善に向けて	認め合い・学び合う集団形成	発問の工夫	ICT機器の活用
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が互いに、認め合ったり、称賛し合ったりできるようにするために教科横断的な視点で道徳教育の充実を図り、規範意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的な好奇心をかき立てる発問をするために、授業方法の工夫・改善に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置を活用し、教材を映すことで、情報を多面的に捉えながら分析する授業を行う。 ・Chromebookを活用して、無理なく、学習効果を高めるとともに、「協働的な学び」の実現を図る。 	